

広報はだの8月15日号に関するアンケート

作成日：令和4年9月6日

回答数	34
-----	----

問1 あなた自身や身近な人について、結婚支援セミナーに参加したい、参加させたいと思いますか。

項目	思う	思わない
回答数	7	27

問2 秦野市が結婚支援を行う際、何が最も必要と考えますか。

項目	回答数
新生活に関する支援の充実	24
出会いイベントやセミナーの情報発信	4
出会いのイベントや結婚意欲向上のセミナーの開催	3
結婚支援に関する相談窓口の設置	0
何もない	0
その他	3

【その他の内容】

- ・子育てや新居に関する補助の有無
- ・LGBT方に対して配慮のある広報記述

問3 結婚を支援するイベントやセミナー等で、次のうち必要と考えるものは何ですか。（2つまで）

項目	回答数
自治体主催または共催の婚活イベント	6
自治体主催または共催の婚活スキルアップセミナー	1
商店街等の地域団体が主催する婚活イベント	6
商店街等の地域団体が主催または共催の婚活スキルアップセミナー	0
民間事業者が実施する婚活イベント	27
民間事業者が実施する婚活スキルアップセミナー	12
職場が実施する婚活イベント	2
職場が実施する婚活スキルアップセミナー	0

問4 婚活イベントに参加する場合、参加したい、又は参加したほうが良いと思うものはどれですか（複数選択可）

項目	回答数
ハイキングやスポーツ等の交流型屋外イベント	30
パーティ等多数参加の交流型屋内イベント	23
農業体験等の自然体験型イベント	20
1対1のお見合い型イベント	1
個人向け自己啓発・自己分析セミナー	1
その他	3

【その他の内容】

- ・ 既婚者や高齢者、乳幼児には関与しない事なので市が行う業務、広報に値しない。
- ・ 個人の意識により結婚観は異なるので外部の人、主催者側だけが熱心でも実りは低いと感じる。

問5 広報はだのを読んで、ご意見がありましたらお聞かせください。

- ・ 結婚支援も必要なのかもしれないが、人生設計のような、どう生きていくかということが大事である。結婚はその一つで、学校でも単なる進学、進路相談ではなく、それを考える機会が足りないのではないか。
- ・ 結婚支援まで市がとは思いますが、出会いが難しい時代に出会い系サイトとは異なり安心感があります。子供たちには結婚だけでなく、その後の生活も自立してほしい。
- ・ 結婚する気のあるなしは本人の自由だから、わざわざ意欲を上げさせる必要はないと思う。また、このご時世なので、感染率が低い屋外の集まりの方が良く、参加者も気軽に参加しやすいのでは。秦野は山もあるので、登山を仲良く喋りながらして、頂上で写真を撮ったりご飯を食べるだけでも、結婚イベント関係なく充実した時間を過ごせる。ただ、たばこ祭や市民の日イベント開催は反対。あまりにもクラスター発生のリスクが大き過ぎる。感染抑制策を講じると言ってもイベントの規模を考えると難しいと思うので、考え直してほしい。
- ・ 婚姻届はどの自治体でも出せるから、何故あえて秦野市で結婚してほしいのか、秦野市で結婚することでどんなメリットがあるのかPRする必要があると思います。秦野市のごみ減量の必要性はわかりますが、市役所自身のごみを減らす取り組みをしているのか疑問です。秦野市役所内のごみ箱全てが分別されているのでしょうか。市民にお願いする前に、まずは市役所が率先してやっていることをPRする必要があると思います。最後に、この感染状況でたばこ祭や市民の日のイベントはやらないといけないことですか？

- 秦野市の結婚支援についてですが、結婚相手を見つける機会を秦野で作るのも大事ですが、秦野市民としては、結婚をして住みたいと思うまちづくりが必要だと思います。秦野は緑豊かなところなので、子供を育てるにはとても良いと思いますが、子供産むための産婦人科が大根地区にしかないことなど課題があります。市の持続的な発展には子育て世帯数が大切だと思うので、結婚の機会を設けるだけでなく、子育て支援や市内産業の活性化などにより注力していただけると嬉しいです。
- 今回の号を読んで、本当に必要な内容は9月の防災訓練を前にしても合同防災訓練が中止になったのだから、もっと防災関連の内容を重視すべき！
非常に読みにくい！緊急情報メールのお知らせもハッキリしていない。先ず、メールアドレスが変わった事がわかりにくいし、お知らせの内容が地震や土砂崩れ等の連絡だけでなく、スモッグ情報などもあることを知らせないと、利用者が増えない。迷子を探して欲しいなら、利用者を増やさなければ！。
あと、たばこ祭りの募金を募集するならもっと大きく。
- そもそも、秦野市の新婚生活施策や子育て施策が充実していないのに、こんな広報を行っても意味がないように思う。
ごみの減量については、市役所自身が襟を正してほしい。大型イベントでは飲食テナントの容器が使い捨てであったことに驚いた。本当にごみを減らす気なのであれば、まずは市役所の体質を変えるべき。
- 結婚はそれぞれがそれぞれのタイミング、それぞれの機会で行うべきなので、行政が深く関わる必要はないと思う。
次に、ごみの減量は市民だけでなく事業者そして市役所自身もやるべきだと思う。市役所としてごみの減量に向けた取組を示してもらわないと、市民はついてこない。市役所はどれだけごみを減らすことができたのか知りたい。
最後に、新型コロナウイルスが猛威を振っている中で、規模縮小して開催する必要があるのか。税金を無駄に消費するだけであれば、せめてでも花火大会にするとか、感染抑制するやり方があるのでは。
- 若い世代にとって結婚を希望しているか否かを知る必要がある。また、結婚に不安があるかないとか。不安があるならそれは何故か。それを知らない限り、どんな施策を出しても税金の無駄遣いで空振りする。実態を知る必要があるのではないか。
ごみの分別は市民にお願いばかりで、市役所の実態がどうなのか。正直、分別していないごみ箱も多かったりするような気がする。そんな中で市民が協力するかというと、協力しないしできないししたくない。
- ごみの分別を市民に訴えるわりには、市役所自体はそれにしっかり取り組んでいないように思う。市役所にある共通のごみ箱には可燃専用とか書いていないから、中身はごちゃごちゃだし、お祭りとかのイベントの飲食容器は使い捨てだし。
そこまで減らしたいなら、徹底的にやらないと意味がないと思う。学校用の食器を使ってでもやるべきだと。そうでないと、市民は取り組んで市役所は取り組んでいないという、そんなバカな話があってはならない。
あと、この感染状況でイベントをする意味があるのか？もっと考えて。
- そもそも、秦野市で結婚するメリットが何かあるのかというとならないような気がする。藤沢市や最近話題の明石市であればその後の生活の不安がなくなる。
あと、まだ大型イベントをやるには早過ぎる。延期するべき。

- ごみ減量の為に市民にお願いばかりだが、市役所はしっかりごみ分別できているか疑問。大型イベントのときの飲食の容器は使い捨てだし、そういうところも取り組んでから市民にお願いじゃないの？ 実際、市役所のごみ箱とか分別されていないし、役所がそれだと、実際分別する気は起きないかな。あと、この社会情勢でたばこ祭や市民の日イベントをやる事は危険過ぎる。集めるためのイベントをするとすると規模縮小になって、人がそんなに来なくなって税金の無駄遣いになる。
- 国政の旧統一協会への関わりのある議員調査のように、例の市長選挙問題に関わるLINEを受け取った議員調査もするべき。議会として最もらしい注意文書を出していたが、自分達の膿を出し切っているとは思えない。
結局、チャンチャンで終わらせているので、一市民として納得出来ない。
また、まだまだ新型コロナウイルスが猛威を振るう中で、大型イベントを2つも行うのは無理があり過ぎる。もっと市長だけでなく市民のことをよく考えて慎重に判断するべきだと思う。
- 秦野市長はまだ市長選挙に関わる責任をとっていない。辞職しないのであれば、給与を一部返納するなどの責任をとるべき。秦野市議会議員の一部LINEを受け取っていながら、それを黙認した責任をとるべき。辞職しないのであれば、給与を一部返納するなどの責任をとるべき。この感染状況の中で大型イベントを開催することは、感染拡大を引き起こす可能性があるが、実行委員会や担当部署、副市長や市長は何を考えているのか。市を盛り上げる方法はいくらでもあるから、しっかり考えてほしい。
- 新型コロナウイルスの第7波の収束が見えない中で、市民の日とたばこ祭を開催する意義は何でしょうか？ 医療逼迫している中で、あえてクラスターを引き起こしかねない状況をつくろうとする市政運営に理解が出来ません。
- 仮にごみの減量が目標を達さなかった場合のことは考えているんですか？
この時期に大型イベントを開催する意味が、わかりません。クラスター発生したり、これで感染者が出たら責任は市でとってくれるんですよね？
- 秦野市で結婚して何かメリットがあるのかが疑問。新生活やその後の生活への支援を、さらに充実させる必要があると思う。あと、この時期に市民の日やたばこ祭のイベントを開催するのは、いかがなものかと思う。もう少し、世の中の状況を考えた方がいい。
- たばこ祭をこの感染状況でもやろうとする意味が何か分からない。これでクラスターでも出たらどうするのか。松田も厚木も延期などしているから、秦野もそうするべき。また、秦野市長選挙問題に対する議会の対応もお粗末過ぎる。自分達もあのLINEを受けていた人がいなかったのか調査する必要があるのでは。国政では旧統一協会との関わりを調べているから、それを倣うべき。
- もし結婚支援をするんだったら、そういう肩書きは付けずに、それぞれの人数制限を設けた誰でもできるアウトドアイベントをしたらどうか。秦野ならではの自然を生かしたアウトドアとか。肩書きが付くだけで、一気に冷める。次に、この感染状況で秦野たばこ祭も市民の日もやる気が知れない。費用対効果を考えて、税金の無駄遣いにならないようにしてほしいが、今のままだとお金の無駄遣いになりそう。行政職員であれば、そういう広い目で物事を見てほしい。

- ・ 結婚支援という名がつくと、一気に参加する気が失せる。もっと、ライトに参加できるようにしないと、結婚したいと思わないのでは。
あと、何でこの時期にたばこ祭？最近の感染者数知っているのかな？観光課さんは何を考えているの？
- ・ 自治体主催の結婚支援イベントは、どうしてもハードルが高い。格式ばった形になりそうだし。
あと、たばこ祭りをこの時節柄でもやる意味が分からない。もし、コロナに罹ったら責任とってくれるんですか？医療費とか余儀なく仕事を休まされた分の給料とか。
- ・ 松田も厚木も祭りイベントをやめたのに、何故秦野市はやるのか？やるとしても花火だけにして、その花火の規模を大きくするとかで十分だと思う。例えば、弘法山だけじゃなくて、別の場所でも上げるとか。やり方はいくらでもあるのに、原点に立ち戻る意味も分からない。
- ・ たばこ祭開催反対！新型コロナウイルスがまだまだ感染拡大しているのに開催する気が知れない。市長をはじめ観光振興課職員は気狂いと思えない。
- ・ この広報は赤ちゃんからお年寄り全ての市民に共通する事項を市税を使って印刷されているのではないのでしょうか？又結婚観は各自思想により異なり1面に婚姻雑誌の様なセミナーの日時等、広報として見て内容の乏しさを感じ驚いた。女性向け、男性向け等の表記に違和感を感じるであろうLGBTの方に全く配慮していない企画でまず過ぎる。この広報の製作時には市の狭い範囲の職員のみで作っているのでしょうか？学識経験有る市民や県民、差別的表記はないか弁護士等参加の上制作、完成させるべきである。内容に問題が大きい広報である。
- ・ 設問4迄全て「婚活」についてで市内広報として企画の仕方に課題がある。一部の年齢層の方にしか響かない。又、結婚情報誌が企画すれば良い様な内容を市の広報一面に掲げ呆れた。
国を挙げて感染症が蔓延し9月にはたばこ祭が開催予定である。感染症予防を呼びかける保健師さんからのメッセージや市内の救急隊員の1日の現状等、市民が安全に生活する呼びかけを一面に掲げ社会情勢を土台に制作してほしい。
8月11日は山の日でした例えば登山時のマナーや登山記録を必ず提出等老若男女に通じる広報を作り市税を無駄にしてほしくない。

○性別

項目	男性	女性	無回答
回答数	25	9	0

○年齢

項目	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
回答数	0	4	7	9	6	4	4